

平成30年5月21日(月)

東愛知新聞

高い木に登れたよ

ツリークライミングを体験

豊橋で
障害児

障害のある子どもたちが20日、豊橋市東田町の桜ヶ丘公園で「ツリークライミング」という木登りを体験し、自然に親しんだ。豊橋市障害者福祉会館さくらピアが主催した。

技術で、1980年代にレジャー化。日本では、コラムニストで農学博士

ジョン・ロス・ギヤスライトさん(55) 米国出身、愛知県在住が第一人者として「ツリークライミングジャパン」を立ち上げ、指導、普及に取り組んでいる。

この日は聴覚や視覚、知的障害などがある東三河の小学1年〜20歳の18人が参加。ジョンさんやメンバーの協力のもと、アカマツとクスノキのクライミングにチャレンジした。

高さ18メートルから垂れ下がるロープの輪っかに足を掛け、腕の力も使いながら登っていく。車いすの男の子は安全保護具に身を包み、母親と共に高さ9メートルほどの枝まで上がり、木漏れ日を顔に浴びて、気持ちよさそうに目を閉じていた。

ジョンさんは、森林を社会の多様性に例えた上で「大変なことがあっても、きょうのチャレンジを思い出して。こんなに高い木に登れたんだから何でもできるよ」と子どもたちに語りかけた。



木の上でくつろぐ親子 豊橋市東田町の桜ヶ丘公園で

(飯塚雪)